

単元名 大昔のくらしとくにの統一

配当時間 8時間

- 単元の目標 (1) 狩猟・採集や農耕の生活、古墳、大和朝廷による統一の様子を手がかりに、むらからくにへと変化したことを理解することができるようにするとともに、当時の様子や人物の働きなどを調べまとめることができる。
- (2) 大昔の人々はどうのような生活をしていたか、世の中の様子はどのように変わったかなど、調べたことを比較したり関連付けたりして、世の中の様子の変化を考え、表現することができる。
- (3) くにとしての我が国の歴史が形づくられるまでの狩猟・採集や農耕の生活など、学習問題の解決に向け、意欲的に追究しようとする。

標準的な展開例

06030104_001

学 習 活 動	留 意 事 項 など
<p>1 縄文時代と弥生時代の想像図から、当時の人々の暮らしぶりについて話し合い、単元の学習問題をつかむ。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 2枚の想像図を見て、それぞれ気付いたことを発表する〈縄文時代〉 ・弓で狩りをしているよ ・ぶどうや栗などの木のみを採っているね ・器を作っているよ。料理や物を入れるために使っているね ・石で道具作っているね 〈弥生時代〉 ・米作りをしているよ。米を倉庫に運んでいる人もいるね。 ・みんなと違う服を着た人もいるよ ・柵で囲まれているね。堀を掘っているよ ・弓や槍を持った見張り人がいるよ ○ くらしの様子が大きく変化していることを話し合い、単元の学習問題をつかむ。 ★米作りによって、世の中の様子はどのように変わっていったのだろう <p>2 縄文時代の狩りや漁中心の生活について調べる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 遺跡の写真や出土物の資料を見て、気付いたことを話し合う。 ・ 堅穴住居、貝塚、土器、石器、骨角器 ○ 人々の暮らしについて話し合う。 <p>3 米作りが広がったところの人々の暮らしについて調べる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 米作りの様子や出土物の資料を見て、気付いたことを話し合う。 ・ 水田跡、石包丁、田げた、くわ ○ 米作りについて調べる。 ・ どこから伝わったのか ・ どのようにして作っていたのか ○ 人々の暮らしの変化について考え、話し合う。 ・ 狩りから米を作る暮らしになり、生活が安定した ・ 指導者が現れ、協力して米作りを行い、生活していた ・ むらとして、まとまりを強めていった <p>4 争いが起こった理由について調べる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 争いの様子の資料から、なぜ争いが起こるようになったのか考える。 ○ むらからくにへと変わっていった様子を確かめる。 ・ 争いに勝ったむらが他のむらを従えて、大きくなっていった ・ むらのかしらは豪族となった ・ むらがまとまって「くに」となり、かしらは「王」となった <p>5 古墳について調べる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 大山古墳について調べる。 ・ どのようにしてつくったのか ・ 出土品はどういったものがあるのか ○ 調べたことを話し合う。 ・ 多くの人が、何年もかけて作った ・ 土を盛ったり石を運んだり、埴輪を並べたりしている ・ 鉄製の刀や銅鏡などが出土している <p>6 古墳が作られ始めたころについて調べる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 前方後円墳の分布図と各地の出土品の資料から、当時の様子について調べる。 ・ 前方後円墳が多くあるのはどこか ○ 大和朝廷による国の統一や渡来人の関わりについて調べる。 	<p>・ 縄文時代と弥生時代の想像図を使い、生活が大きく変化してきたことをつかませる。</p> <p>【評】縄文時代と弥生時代の想像図を使って話し合う活動を通して、「主体的に学習に取り組む態度」を評価する。</p> <p>・ 三内丸山遺跡の復元模型の写真や出土物の資料から、どのような生活をしていたか考えさせる。</p> <p>・ 人々が協力していたことを捉えさせる。</p> <p>・ 米作りが行われていたことに気付かせる。</p> <p>・ 道具の形から、どのように使われていたか考えさせるようにする。</p> <p>・ 米作りの技術は、中国や朝鮮から移り住んできた人々によってもたらされたものであることを押さえる。</p> <p>・ 米作りが人々の生活を大きく変化させたことに気付かせる。</p> <p>・ 米作りに適した土地や水、蓄えた米などをめぐって争いが起こったことを捉えさせる。</p> <p>・ 邪馬台国の卑弥呼の話を基に、力のある王が周りの「くにぐに」に従え、さらに大きくなっていったことをつかませる。</p> <p>【評】資料を基に説明する活動を通して、「思考・判断・表現」を評価する。</p> <p>・ 大山古墳の位置を地図帳で確認させる。</p> <p>・ 2019年、世界文化遺産に登録されたことを伝え、興味をもたせる。</p> <p>・ 校舎や校庭、校区の大きさと比較し、古墳の大きさを捉えさせ、意欲付けを図る。</p> <p>・ 強大な権力をもった人物がいたと考えられることを捉えさせる。</p> <p>【評】ノートにまとめたり発表したりする活動を通して、「知識・技能」を評価する。</p> <p>・ 近畿地方の多く集まっていることを捉えさせる。</p> <p>・ 渡来人によって進んだ文化が伝わったことを押さえる。</p>

- ・統一の経過
- ・渡来人とはどんな人たちか
- ・渡来人と朝廷との関わり
- 神話や『風土記』について知る。

7～8 単元のまとめをし、学習の振り返りをする。

- 縄文・弥生・古墳時代についてまとめる。
- 学習問題について自分の考えをまとめ、話し合う。

・知多半島に関するものなどに触れ、歴史を身近な物に感じさせる。

- ・想像図や写真を参考にして既習事項を確認させ、時代ごとの特徴をまとめさせる。
- ・自分の考えを発表し合う活動から、他の児童がどのように考えているかを参考にし、次の活動につなげる。

【 備 考 】